

訪 問 教 育

訪問教育の目標

人やものに関わりながら、自分の意思で動作・行動ができ、様々な手段を使って他人とのコミュニケーションがとれる子どもを育てる。

具体的指導目標

- (1) 学校生活を元気に送ろう。 (心身の健康)
- (2) 自分の力でがんばろう。 (やろうとする意欲の喚起)
- (3) みんなといっしょに活動しよう。 (友達や家族など人間関係の育成)

努力目標

- (1) 個々の障害に応じた感覚・運動機能の維持と向上を図る。
- (2) 自分の感情や意思を表情・身振り・発声・ことばなどで表現する力を養う。

令和5年度児童・生徒の状況

○学年別・男女別児童生徒数

		小学部						中学部			高等部			計
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3	
渋川医療センター	男	2	1	—	—	2	—	—	1	—	—	—	—	6
	女	—	3	1	—	1	1	—	—	1	—	1	3	11
在家庭	男	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
学年合計数		2	4	1	0	3	1	0	1	1	0	1	3	17

○出身県別・男女別児童生徒数

地 域		群馬県	神奈川県	東京都	埼玉県	計
訪問先	渋川医療センター					
	男	1	1	4	—	6
	女	2	2	4	3	11
在家庭	男	—	—	—	—	—
	女	—	—	—	—	—
合計数		3	3	8	3	17

授業時間割

○授業は、週3回行い、1回を2単位時間とする。

- ・児童生徒の実態に応じて個別学習を実施する。
- ・指導内容は「自立活動」を主として行う。

○時間表例（渋川医療センター）

	月	火	水	木	金
午前			個別 学習		
午後	個別 学習			個別 学習	

特徴的な学習について

（１）興味関心を基に一人一人の実態に合わせた学習

①自発を促す感覚的活動（いろいろな刺激から気付きを増やす）

- ・触　－　手、布（ホットタオル）、ブラシ、紙粘土など
- ・光　－　iPad、LED、光ファイバー、ミラーボールなど
- ・音　－　チャイム、iPad、ブザー、キーボードなど
- ・振動　－　バイブレーターなど
- ・臭　－　花、香辛料、エッセンス、入浴剤など
- ・運動　－　トランポリン、バランスシーソー、エアートランポリンなど

②探索能力を高める学習

- ・目の使い方（注視・追視）
- ・手指の使い方（手を出す・触る・握る・放す・取る・押す・引く・動かす等）
- ・耳・鼻を使う（にのいの学習等）

③弁別学習

・色・形・音などについて、型はめ・形の分類・色の分類・音の聞分けなどを取り扱う初期学習から、描画・文字の弁別・読み・日常生活における事象の学習まで総合的に学習を行う。

④コミュニケーション手段の獲得

- ・スイッチを操作するなど、それぞれの方法で意思を表現する。
- ・写真カード、絵カード等を活用して選択する。

（２）身体・健康

①スキンシップ

- ・精神的安定を図る

②外気浴

- ・外の空気に触れる
- ・日光浴

③運動・動作

- ・リラクゼーション
- ・姿勢・運動（伏臥位・座位・四つ這い位・膝立ち・立位・歩行等）

④排泄の自立へ向けての取り組み（尿意の確認・定時排泄等）

（３）学校での学習

- ・学校行事への参加　入学式・卒業式　はるな祭（映像、作品参加）

年間行事予定

月	参加可能な学校行事	訪問教育年間行事
4	入学式	1 学期始業式
7		1 学期終業式
8		2 学期始業式
11	はるな祭	はるな祭 (映像・作品参加)
12		2 学期終業式
1		3 学期始業式
3	卒業式	卒業式 修了式

※新型コロナウイルス感染症予防のため、予定に変更が生じる場合もあります。